第66回 若杉祭

中学校文化祭「第66回若杉祭」が、テーマ「ひまわり～一人一人の輝きを一つに～」のもと、９月29日に開催されました。

午前中はステージ発表で、１年生は安城との交流、２年生は職場体験、３年生は修学旅行など、各学年で体験してきたことを芝居や実演を交えるなど、どの学年も工夫を凝らし、分かりやすい発表を行いました。

モザイクアートでは生徒、先生、ＰＴＡも一緒になって色を塗り、パネルを貼り合わせ、一枚の大きなひまわりの絵が完成しました。

午後からの音楽会では、少ない人数の中で一人ひとりがしっかりと声をだし、響き渡った合唱や迫力ある演奏に聴き入ってしまいました。

全校で15人と少ない人数ですが、企画、運営、作品など一つ一つに生徒たちのエネルギーを感じる「若杉祭」でした。

長野県後期高齢者医療保険 医療費通知が変わります

平成29年分の確定申告から、医療費控除の提出書類が簡略化され、領収書の提出又は提示が不要になった代わりに、医療費控除の明細書の添付が必要となりました。また医療費通知を添付することで、明細の記入や領収書の保管を省略できるようになりました。平成29年度までは医療費が一定の額を超えた被保険者のみに医療費通知が送付されましたが、平成30年度からは広域連合からお送りする医療費通知が医療費控除の申告に使用できるようになるため、通知発送時に、既にお亡くなりになっている方を含め、対象期間に受診履歴がある全ての被保険者へ医療費通知が送付されます。平成29年度までは、年３回に分けての送付でしたが、平成30年度からは１月から10月までの受診分は翌年１月下旬に、11月及び12月受診分は、翌年３月下旬に、年２回に分けて送付されます。確定申告期間に医療費控除を申告される方は翌年１月下旬に送付される医療費通知と11月及び12月診療分に係る領収書等をご用意して申告をお願いします。

根羽村少年少女消防クラブの活動について

小学校全校児童で結成した根羽村少年少女消防クラブの活動が行われました。この活動は、子どもの頃から防災意識を高めることと、子どもの呼びかけに大人も防災意識を高めてもらうという思いがあります。おそろいのキャップ、法被、ベルトを身につけた、小学校１～２年生は拍子木を打ちながら防火標語を元気よく呼びかけてくれました。有閑荘、役場など各所に立ち寄り、元気に防火啓発をしました。暖房を使う時期になりましたので、ご家庭でも火の取り扱いには十分ご注意ください。

地域おこし協力隊 in 根羽村 PART4

＜牛のシロのその後＞

初めてのお産で、３ヶ月ほど体調不良に苦しんだシロですが、運良く、夏の酷暑の前までに、体調がある程度回復しました。

白黒模様のホルスタインは暑さに弱く、乳牛の体に大きなストレスを与えます。夏は､食欲も落ちて体調を崩す牛が多いですが、シロの食欲は、今年の暑さのなかでも、それほど落ち込むことはありませんでした。

隣の牛の草や穀物飼料を盗み食い！元気なのはいいことですが穀物飼料の食べ過ぎは良いことではありません。

また、いつでも好きなだけ水が飲めるよう、エサやりのたびに置いてあげても遊び半分で毎回ひっくり返すようになり、そこらじゅう水浸しに・・・

時に外より暑い牛舎の中で、体温を下げるため体に水をかける日々。牛も大変でしたが私にとってもなかなか大変な夏でしたが、不調の頃に比べ少しずつ元気になりました。

色々工夫はしてみたものの、どこまで暑さによる体へのダメージを減らせたかは分かりません。悪影響が出ていないことを祈るばかりです。

ひっくり返すの大好き

＜失敗＞

乳牛は、経過が順調であれば出産後50日くらいまでには発情が戻り、２～３カ月目には人工授精によって次の子牛を妊娠し、１年に１頭の子牛を産みます。

シロは、大分遅れて出産後80日くらいの６月に一応発情が戻り、その後、約21日ごとに発情がきていました。しかし、夏の酷暑の時期は授精をしても妊娠しない可能性が高いため授精を見送り、９月と10月の授精も、10ヶ月の妊娠期間を経ると、来年の真夏に出産することになってしまうため見送ってしまいました。

そして11月、さすがにもう妊娠してもらわないといけないと、発情がきたら授精をする準備をしていたのですが、予定日に発情が来ないという事態に。

出産後の日が経つにつれて発情も分かりづらくなり妊娠もしにくくなってしまうのです。

産み月の調整などしてはダメと、獣医さんに言われました。せっかく発情がきていたのに、授精をしなかったために引き起こしてしまった繁殖障害は、完全に私の失敗です。対策をとった上で、次の授精の機会を逃さないようにしたいです。

池の平の牧草地にて　モアを使った草刈中

＜新しいこと＞

自給飼料を作る練習として、モアを使っての草刈りを教えて頂いています。

茎の下の方まで刈ってしまうと、牛が好まない固い茎の部分や、土が混じってしまい、牛が喜んで食べてくれなくなってしまうのですが、慣れないので茎の下の方どころか土まで刈ってしまうことも、しばしばです。仕事の効率も悪くまだ訓練が必要です。

◀池の平牧草地

私は、来年の３月で協力隊の任期を終えるので、次回、最後の活動報告になります。来年度からの計画や、シロの妊娠のお知らせが、出来るといいです。

第42回 ふるさと根羽村フォトコンテスト『春・夏の部』審査結果

第42回ふるさと根羽村フォトコンテスト「春・夏の部」において9名の方が入賞されました。

今回は八柱神社下のさるすべりの花のピンク色と紫陽花の青色を鮮やかにとらえた作品が村長賞に、仲良くとうもろこしの収穫に励む市の瀬の片桐晴昌さん・末子さんご夫妻を写した作品が観光協会長賞に選ばれました。

当コンテストに応募された作品は、現在ネバーランドに展示していますので、ご覧ください。

また、本フォトコンテストでは只今「秋・冬の部」の作品を募集しています。是非多くの方々のご応募をお待ちしています。

村長賞

巨木　下川清光(西尾市)

観光協会長賞

とうもろこしの収穫
實原保正(阿智村)

審査員特別賞

ガンバレー　熊崎元子(飯田市)

中日新聞社賞

初夏の清流
中島　馗允(みちのぶ)(阿智村)

写真刊賞

仕事を終えて
串原幸延(下條村)

南信州新聞社賞
みどり色の峡谷
萩原　清(飯田市)

中日写真協会賞
早春と渓流
伊藤孝行(松川町)

優秀賞
春耕　鳴海寿勇(飯田市)

信濃毎日新聞社賞
とうもろこしの収穫
實原幸代(阿智村)